

みどりとせせらぎのまち 越生

～笑顔と活気に満ち 夢が広がるまちづくり～

町民と行政との協働により将来を創造するまちづくり

本町のまちづくりは、行政主体ではなく町民自らが考え実行しようとする気運が高まっています。行政は、地域の意見や町民の声を聞くとともに、情報公開を積極的に行うことにより、町民との相互理解によるまちづくりを進めていくことが必要です。

小さな町だからこそ、町民、事業所、各種団体、行政が共通の課題と目標を持ち、それを解決していくために、町民と行政が一体となって、将来を見据えた魅力溢れるまちづくりを創造します。

自然と文化を愛でやさしさと思いやりのあるまちづくり

本町の自然環境は、奥武蔵の里山の風情が息づいています。四季折々の花、梅・ゆず香る豊かな恵み、家族で楽しむレジャーなど癒しの要素を備え、歴史と文化が相まって、人の心を豊かにしてきました。

この自然と文化に抱かれたなかで、健康づくりが実践できる、安心して子育てができる、ハイキングやスポーツを楽しむことができるなど、たれもが健康・医療・福祉を享受できるやさしさと思いやりのあるまちづくりを推進します。

地域の特性を活かした活力と魅力のあるまちづくり

本町は、首都50km圏にあり、高速道路や鉄道路線により東京まで約1時間と交通便利性に恵まれ、調和のとれた豊かな環境のなかにあります。

この恵まれた地域特性を活かし、農林業と商工業をバランス良く振興することにより、調和のとれた土地利用を図るとともに、人々が行き交い、ふれあい、安心して暮らせる住環境を整備し、新たな交流が生まれる活気のある持続可能なまちづくりを推進します。



新たなつながりが生まれるまち
(子どもフェスティバル)



安心して暮らせるまち
(見守りボランティア)



ともに創るまち
(女性・若者まちづくり会議)



三浦道弘副町長

新井康之町長

原口仁教育長



越生町議会議員

安心元気な越生町を目指します

越生町は、「町民と行政との協働により将来を創造するまちづくり」、「自然と文化を愛でやさしさと思いやりのあるまちづくり」、「地域の特性を活かした活力と魅力のあるまちづくり」の3つを基本理念とし、今後のまちづくりを総合的かつ計画的に進めていきます。

町民の意見を行政に反映させ開かれた議会運営を目指します

越生町議会は、町民の代表である定員11人の町議会議員で構成されています。年間を通じて4回の定例会と必要に応じて開催される臨時会では、町全体の取り組み方針や課題解決について活発な議論が展開されています。行政のチェック機能として開かれた議会運営を目指します。